

学 校 安 全

5・6年



この本の 使い方



守るベアー君

5・6年生のみなさんへ

この本を使って、学級や学校のみなさんで学習し、交通事故、誘拐、地しんや火山のふん火など事件・事故のひ害にあわないようにしましょう。

- 1 登下校時には、みなさん一人一人がどんなことに気をつけたらよいでしょうか。また、上級生として、どのような心配りをしたらよいでしょうか。
- 2 家に帰ってから外へ出かけたり、遊んだりする時には、どんなことに気をつけたらよいでしょうか。
- 3 学校や家にいる時、自然災害などが起こったら、どうしたらよいでしょうか。
- 4 この本に書いてあることや学校で学習したことをもとに、学校の安全や地域の安全を守るためにどうしたらよいか、家族などとはよく話し合いましょう。

ご家庭の皆さんへ

この本は、北海道の未来を担う子どもたちを、事件・事故災害の被害から守り、健康で安全に成長することを願って作成したものです。

- 1 学校で学んだことを話題にして、家庭でも安全な行動の仕方などについて指導いただき、子どもたちに安全な態度や行動が身に付くようにしてください。
- 2 本文中（裏表紙）の指導のねらいについて、わかりやすく説明してください。
- 3 家の周りなど、それぞれの地域の実情に合わせた具体的な指導をしてください。

1 交通安全

(1) 道路の横断

- ① 大きな交差点で信号が青になりましたが、おしゃべりしながらわたろうとしています。どんな危険が予想できますか。



- ② 停車している車両の間をすりぬけて、友だちの後ろから道路を横断しようとしています。どんな危険が予想できますか。





- 交差点で道路を横断する場合には、信号が青であっても、左折や右折をしてくる車両などがあり、十分注意する必要があります。また、車両の運転手に目で合図を送るなど、自分の存在を認めさせることも大切です。

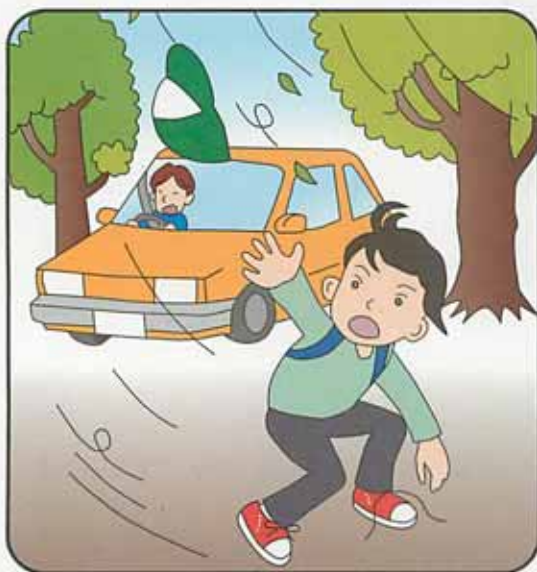
(2) 雨・雪の日や夜間の歩行

- ① 天候の悪い時や夜間は運転者の視野もせまくなります。歩行者は、どんなことに注意したらよいでしょうか。

次の絵を見て、服装、歩行や横断の仕方、かさのさし方などについて考えて書きましょう。



◆ 雨の日



◆ 風の強い日



◆ ふぶきの日



◆ 夕方や夜の道



- 雨の日は、かさで前が見えないようにして歩くことは、とても危険です。
- 雨や雪の日は、運転者から歩行者が見えやすいように、目立つ服装をしましょう。

(3) 自転車の安全な乗り方

- ① 次の絵を見て、安全に自転車に乗るためのきまりについて、みんなで話し合
いましょう。

道路ではどちら側を通行？



交差点では？



歩道では？



- ② 自転車に乗る場所について考えましょう。

自転車から降りて、
待っていたほうがよ
い場合は、どんな時
ですか。



自転車から降りて、
おしていったほうが
よい場合は、どんな
時ですか。

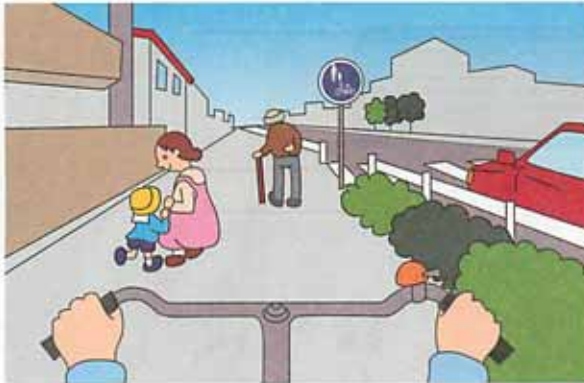


あなたの家の近く
で、自転車に乗って
は危険だと思われる
場所は、どこですか。



- ③ 自転車通行可の歩道を走行しています。前方には子どもを連れてお母さんとお年寄り（おやい）がいます。

どんな危険（きけん）が予想できるか、考えましょう。



- ④ 夜、ライトをつけずに自転車に乗っています。交差点に近づいてきましたが、あなたはそのままのスピードで走行しています。

どんな危険（きけん）が予想できるか、考えましょう。

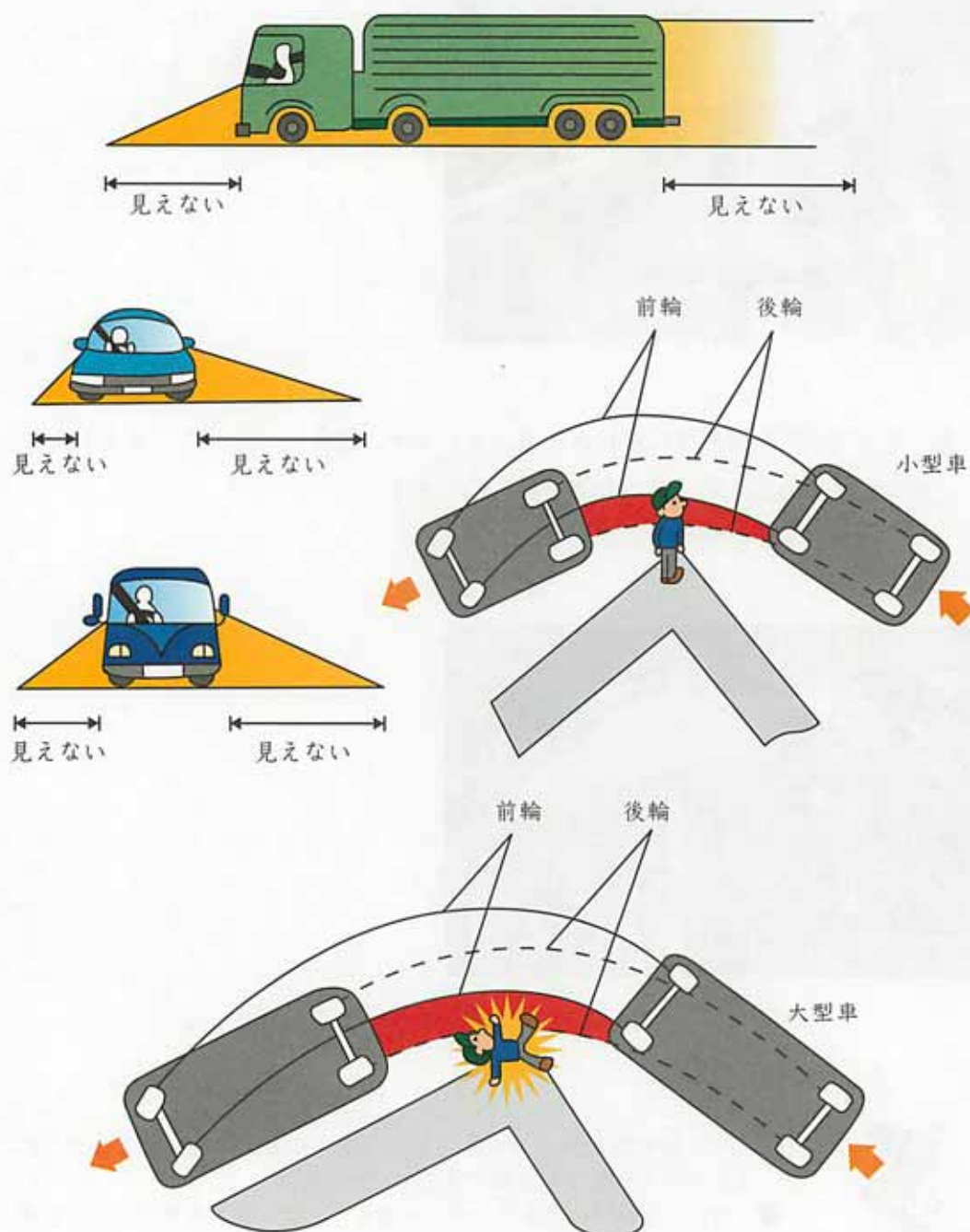




- 「自転車通行可」の歩道でも、歩行者の動きに対応できるようにスピードを落として運転することが大切です。
- 夜間、自転車のライトをつけて走ると、車両や歩行者に自転車の存在を知らせる大切な方法です。夜間は必ずライトをつけましょう。

(4) 自動車の動きと安全な歩行

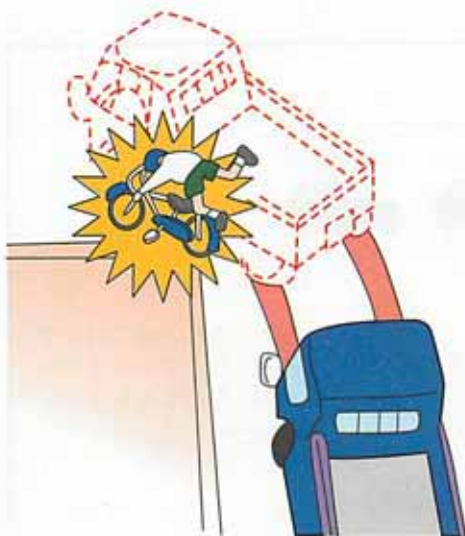
- ① 運転手の死角や車の内輪差は、自動車の種類や大きさによってどのようにちがいますか。(黄 死角、赤 内輪差。)



- ② 死角や内輪差によって、事故になることを防ぐには、どんなことに注意したらよいか、話し合って書きましょう。



◆ 死角に対する注意



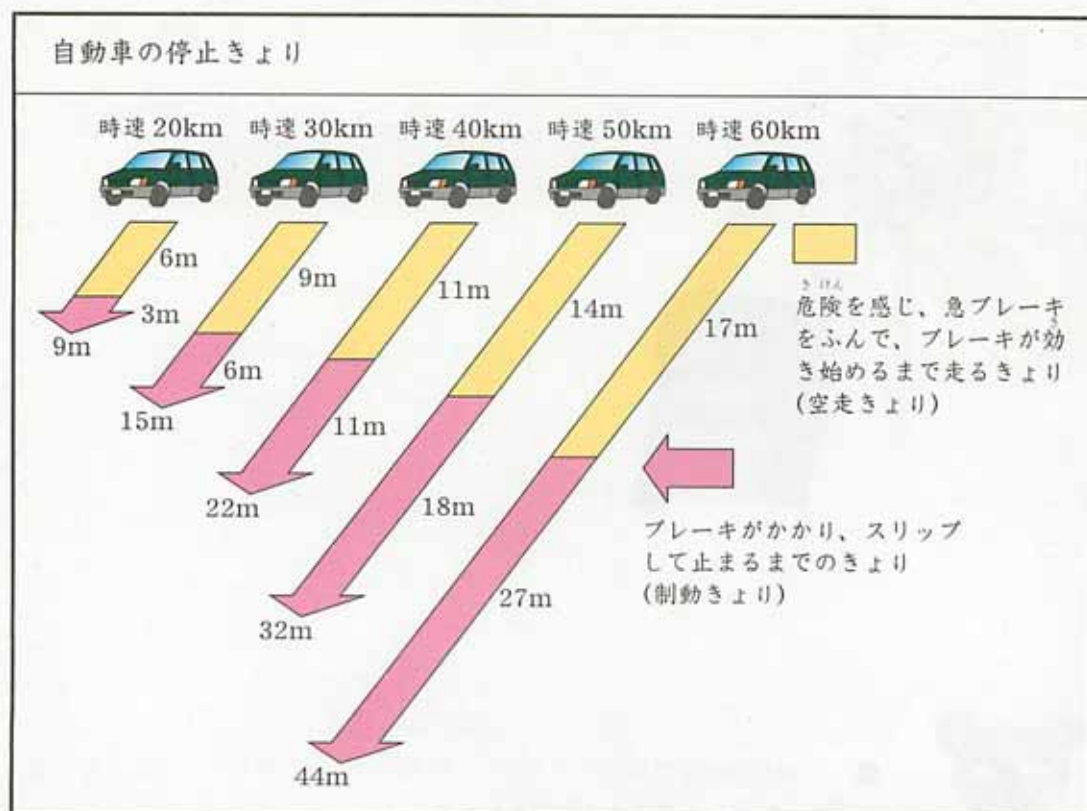
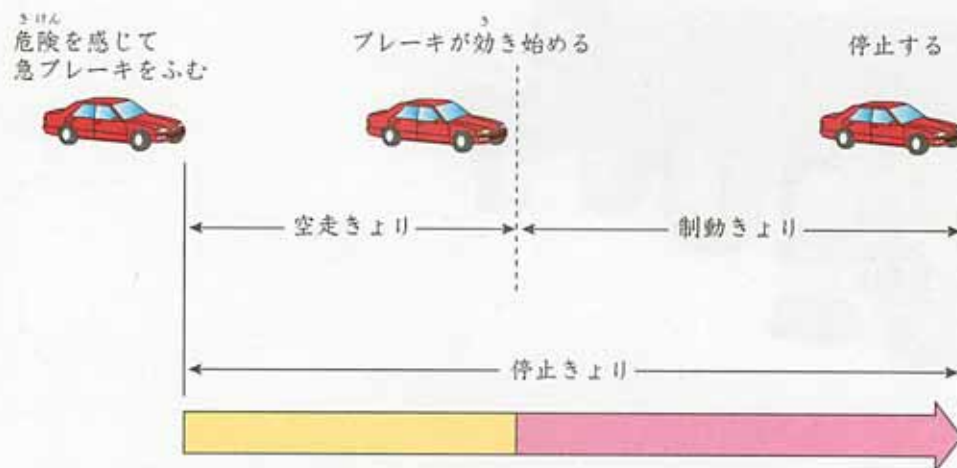
◆ 内輪差に対する注意



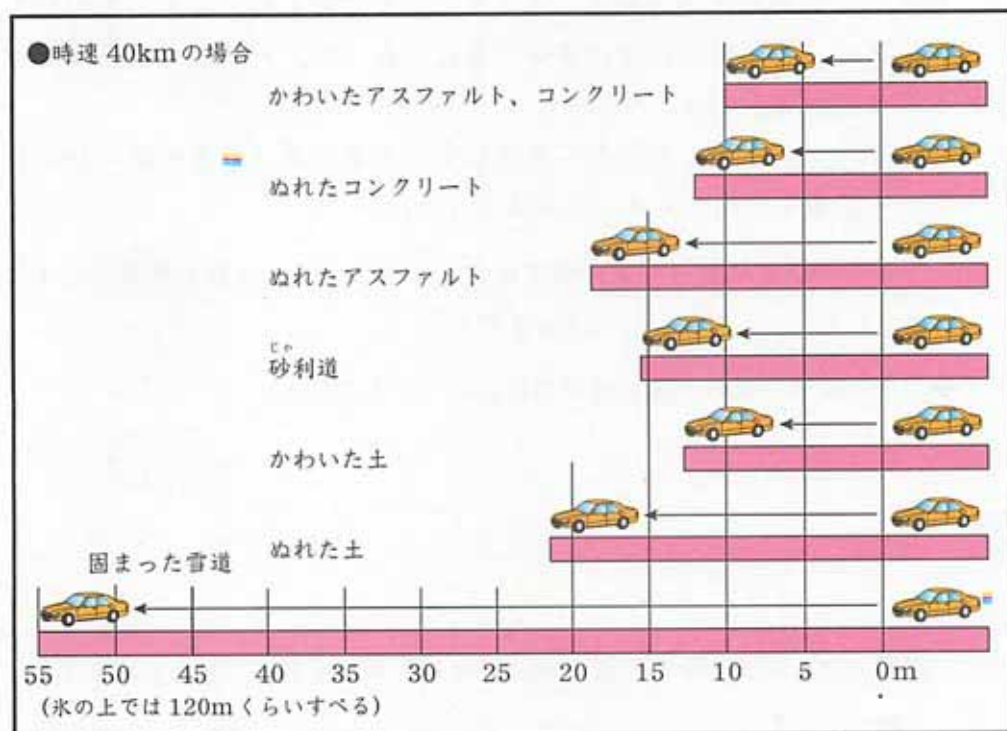
- 自動車の種類や大きさによって、死角や内輪差が異なり、その危険度も異なるので、注意する必要があります。

(5) 自動車のスピードと急停止

- ① どんなに注意深く、運転している自動車でも、急には止まれません。危ないと思って、ブレーキをかけても、スリップしてしまいます。また、止まるまでのきょりはスピードによってちがいます。



- ② 自動車のスピードと、スリップする関係は、前のページにもありましたが、雨や雪がふって、路面がぬれたり、こおったりした時、スリップするきよりは、次の図のようになります。



- ③ 二つの図を比べると、どんなことがわかりますか、考えて書きましょう。

2 生活安全

(1) 登下校の安全

最近、テレビで報道されているように、子どもをねらった犯罪がとても増えています。特に登下校中に事件や事故にあって、大切な命が危険にさらされることも少なくありません。

みなさんが、ふだん何気なく生活している家の周りや通学路にひそむ危険について、もう一度、見直してみましょう。

- ① 子どもがひ害にあった事件や事故のニュース、または近くで起きた不しん者の情報などについて話し合ってみましょう。

◆ 不しん者が現れやすい時間帯は、いつごろでしょう。

- ② 犯罪を起こそうとする人たちが、立ち入り易い所とは、どんな場所でしょう。



◆ このような場所には、不しん者が立ち入り易いと言われています。
なぜでしょう。理由を話し合ってみましょう。



◆ このような場所を地域で見つけた時、自分たちにできることはないか、話し合ってみましょう。

③ 危険な場所のチェックポイント

	犯罪が起りやすい場所
A	● 高いへいや生がきが続く道 ● 入りやすくかくれる場所の多い公園 ● 人通りの少ない道 ● 街灯の少ない場所 ● 見えにくい空き地やちゅう車場
B	● 使われていないビルや窓ガラスの割れた建物などの多い場所 ● 落書きの多い公園 ● 放置自転車や路上ちゅう車の多い道
C	● ガードレールのない歩道 ● 何本かの道路が交わっている場所 ● 交通量が多く、民家や商店街からはなれた場所にある道路

◆ A～Cの場所には、それぞれ危険な理由があります。どんなことが考えられるでしょう。

◆ どんな場所であれば、安全といえるのでしょうか。話し合ってみましょう。



● 地域住民の注意の目が行きとどいていない場所、どこから見わたせず、人目につきにくい場所、建物がこわれていたり、ゴミが散らかっていても直そうとせず、だれもが無関心な場所、犯人が事件などを起こした後に、簡単ににげることができそうな場所、などをどうしても通らなければならない時には、一人にならないようにするなど、十分に気をつけて行動するようにしましょう。

《ご家庭・地域の皆さんへ》

家の周りや自分たちの住んでいる地域の清掃美化活動を、子どもたちと一緒にしてみませんか？

みんなが自分たちの地域に関心を持ち、環境の整備を行っていくことが、不審者や犯罪者をその地域から遠ざけ、犯罪の少ない町作りをしていくことにつながります。

【「割れ窓理論」～ケーリング博士（ハーバード大学）～】

割れた窓がそのまま放置され、誰もどうでもいいと思っていると、窓はさらにどんどん割られていく。また、ごく軽い違反行為を放っておくと犯罪に対する恐怖感が高まり、それが増大することで、深刻な犯罪が増え都市が荒廃するという考え方のこと。

札幌市の繁華街「ススキノ」の安全対策として、この考え方が取り入れられ、全国的に注目された。

(2) 地域安全マップを作ろう！

高学年になると、行動はん囲が広がり、今までは行くことのなかった場所や地域にも出かける機会がふえてくることから、地域の安全について、もっとよく知っておくことが大切になってきます。

自分たちの住む地域全体の危険な場所についてまとめたのが「地域安全マップ」です。マップを作ることによって、犯罪を防止する効果が期待されています。

① 情報をたくさん集めよう。

- ◆ 家の人や地域の人、最近の新聞やインターネットなどからも、不しん者の情報を集めます。

② 調査こう目を確認しよう。

- ◆ 「人」に注目するのではなく「場所」に注目しながら調査こう目を決めましょう。

③ グループを作ろう。

- ◆ 5～6人のグループに分かれて、役割や調査こう目を分担し、持ち物も確認します。

役 割	名 前	担当する調査こう目	持ち物

④ インタビューの計画を立てよう。

- ◆ だれに、どんなことを聞きたいのか、事前に決めておきます。

だ れ に	どんなことをインタビューするか

⑤ 町にフィールドワークに出かけよう。

◆ 校区の地図をいくつかに分けてグループごとに調査する区域を分担します。



◆ 安全マップ作成のポイント

* 犯罪の「起こった場所」
を書くではありません。

これから犯罪が「起こり
そうな場所」を調べて書き
ます。

* 不しん者の「出た場所」
を書くではありません。

不しん者にとって、「都
合がよさそうな場所」を調
べて書きます。

⑥ 地域安全マップを完成させよう。



◆ 大きな模造紙に、分担した区域の地図を
書きます。

◆ 危険な場所を地図の上に書きこみます。
(「見えにくい所」や「入りやすい所」)

◆ 「ふきだし」などを使い、なぜ、そこが
あぶないか、理由を書きます。

◆ 写してきた写真をはりますが、個人の家の
表札や車のナンバープレートなどが写っ
ていた場合はマジックで消します。



- 保護者や地域の人々を招待して、発表会を開きましょう。
- 低学年の人たちにもわかるように、説明会を開いてあげるのもいいですね。
- コンピュータを使って、写してきた写真などの画像を映し出しながら、説明することもできます。

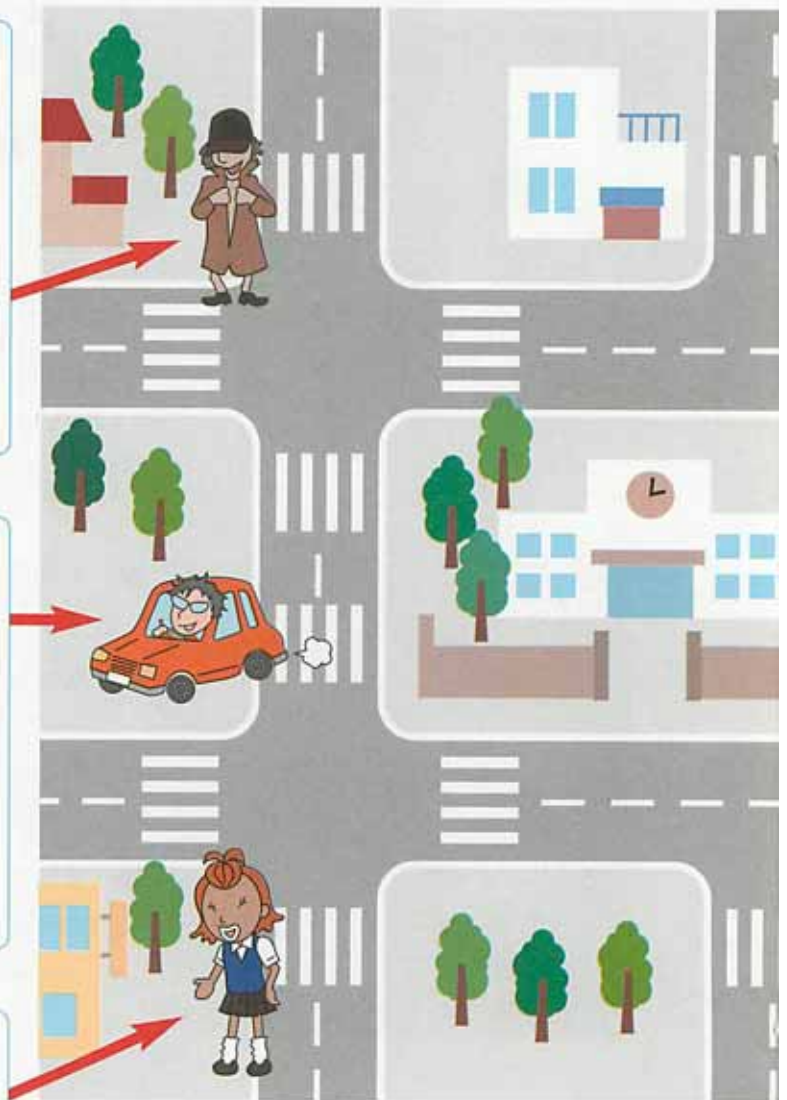
(3) こんな時は、どうしたらいいでしょう

みなさんの周りには安心や安全をうばってしまうかもしれないことがたくさんひそんでいます。こんな時、みなさんならどのようにしますか？ 考えてみましょう。

○向こうから歩いてきた男の人がいきなり自分のコートを広げて下半身を見せてきました。

○車に乗った若い男の人が「いっしょに乗っていかない？」と話しかけてきました。

○「お金をもっていない？ 少し貸して！」



- 他にも、こんな声かけをしてきた例があります。相手に気を許さず、変な様子はないか、十分観察することが大切です。
- ☆「写真をとってあげる。」といって近づく。
 - ☆「アルバイトしない？」とさそう。
 - ☆「ファッションモデルにならない？」といって近づく、など

《ご家庭の皆さんへ》

それぞれ想定されている場面ごとに、お母さんやお父さんが、「誘い役」を演じて、お子さんが上手に断ることができるか、練習をしてみるのもいいですね。

○知らない男の人が家の前で
「私の車に傷をつけたのは、あ
なたでしょ。」と言っています。

○「お家の人からたのまれたんだけ
ど、〇〇で待っているからすぐ来
てほしいそうだよ。連れて行って
あげるからいっしょにおいで。」

☆他にどんな言葉をかけられた
ことがありますか？ その時
はどのように答えましたか？



(4) こんな時、どんな行動をしたらいいでしょう

B子さんは、夕方一人で習い事へ行くために道路を歩いていました。そこへ車が近づいてきて、車の中から男の人が話しかけてきました。「どこ行くの？ いっしょに遊ばない？ かわいいね。ちょっとお話しようよ」見ると若い男の人が2人乗っています。さて、この後、B子さんはどうしたのでしょうか。もし自分だったらどうするか、いっしょに考えてみましょう。



B子さんは

話しかけられたので車のほうを見ました。すると男の人と目が合ってしまいました。男の人はさらに話しかけてきます。どうしていいのかわからず、そのまま歩き出しました。

あなたなら

☆ 車はB子さんが歩くスピードに合わせてゆっくりとB子さんの横をついてきます。



B子さんは

むしして歩いていましたが、どこへ行くのかと聞かれて、つい「習い事です。」といっていました。

あなたなら

☆ どちらの方なの？ そこまで送っていったらあげるから乗っていきなよ。



B子さんは

「いいです。自分で歩いていくから。」と答えました。

あなたなら

☆ 近くに人が歩いてきました。



B子さんは

なんだか、はずかしくて声をかけられませんでした。

あなたなら

☆ お店がある通りに出ました。



B子さんは

コンビニの横を通った時、
中にかけこもうと思ったので
すが、時間がなかったのでお
店に入らずにまっすぐ習い事
への道をいそぎました。

あなたなら

☆ もし、自分がB子さんの立場だったらどんな態度をとるとよいか考えましょう。
じっさいに断り方の練習をしてみましょう。(ロールプレイング)

車の男 「ねえ、君、どこへ行くの？ いいアルバイトがあるんだけど、やってみ
ない？」

B 子 ()

車の男 「どこまで行くの？ 雨が降ってきそうだよ、車に乗っていかない？」

B 子 ()

車の男 「お腹はすいてないかい？ おかしと飲み物もあるよ。」

B 子 ()

※ B子のセリフを考えて書いてみましょう。先生が「さそい役」になって、実際
に上手に断れるか、やってみましょう。ふざけずに真けんにやるのが大事です。



- あいまいな態度をとらない。きっぱりと断りましょう。
- はずかしがらず、近くを歩いている人に助けを求めましょう。
- 大きな声で助けを求めましょう。
- 商店や近くの家に助けを求めましょう。ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、子ども110番の家などにも助けを求めることができます。
- できるだけ一人での行動をさけましょう。

合言葉は「いかのおすし」
約束守って、気をつけようね！

必ず、
行き先を言う！
ついて

いか

ない

知らない人にはついていかない。
あぶないところにいかない。

車に

の

らない

知らない人の隣にのらない。
知らない人の車にのらない。

お

おごえをだす

危ないと感じた時は
大きな声で「助けて！」と叫ぶ。

す

ぐ逃げる

こわかったら大人のいる方に
すぐ逃げる

どんな人が何をしたら、
周りの大人に知らせる

し

らせる



北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議

(5) 不しん者のしん入を防ぐ取組

学校では、みなさんの安全を守り、楽しい学校生活が送れるよう、不しん者のしん入を防ぐためのいろいろな取組をしています。

先生方や地域の人たち、PTAの人たちと一しょになって、安心して生活や学習ができる学校を作るために、みなさんにもできることはないか、考えてみることも大切です。

① 不しん者のしん入を防ぐ。



② 不しん者をできるだけ早く発見する。



③ 不しん者がしん入した場合に、安全を守るための器具を備える。



◆ 皆さんが直接、不しん者に対応することは危険ですので決してしないようにしましょう。

では、それ以外で、みなさんにもできることはないか、考えてみましょう。

④ 学校のしき地内や校舎内の危険か所のチェック

場 所	チェックポイント	○×
グラウンド	・木のかげになって、見えづらい所はないか。 ・物置のかげなど、周囲から見えない場所はないか。	
前 庭	・フェンスがこわれている所はないか。 ・道路が近く、だれでも入りやすい所はないか。	
玄 関	・開けっ放しになっていることはないか。	

◆ 委員会活動として、学校のしき地や校舎内の危険な場所をチェックしてみましょう。どんな場所を調べるのがいいでしょうか。

◆ 一日の学校生活の中で、不しん者がしん入しやすい場面や時間帯はないか、考えてみましょう。

⑤ 不しん者がしん入しづらい学校のかん境づくり



◆ 不しん者にとってしん入しづらい学校とはどんな学校でしょう。安全な学校のかん境づくりのため、自分たちにできることはないか、話し合ってみましょう。



- 「自分たちの学校の安全は、自分たちの手で守る」という気持ちが大切です。
- いつもきれいで整理が行きとどき、ろう下ですれちがうたびに子どもたちが元気に「あいさつ」してくれるような学校が、不しん者にとっては、しん入しづらい学校と言えるのです。

(6) 校舎内の危険な場所を探そう

① 階段やろう下では、どんなことに気をつけますか？



◆ 階段やろう下の曲がり角は一つまちがうと大きなけがにつながる危険がありそうです。どんなことに気をつけると防げるのでしょうか。教室移動や休み時間に気をつけることを考えましょう。



② ろう下にも危険がひそんでいます。



◆ ろう下の歩行などの際に、どんなことに気をつけるとよいのでしょうか。自分たちの生活の様子から気をつけなければならないことを考えてみましょう。



③ 体育館や教室にも危険な場所があります。



◆ 体育館にもけがにつながる場所があります。皆さんの行動が、どのような危険へとつながっていくのか考えてみましょう。

④ 教室での過ごし方にも危険があります。



◆ 教室は一番長い時間を過ごす所です。授業中にも、けがにつながる場合があります。具体的な場面ごとに、安全な行動の仕方について考えましょう。





- 体が大きく成長するこの時期は、下級生との体格や体力の差に気づかず、相手にケガをさせてしまうこともあるので気をつけましょう。
- 刃物など危険なものをあつかう時には、十分使い方に慣れておきましょう。
- 具体的な場面を想定して危険予測の学習を行いましょう。

3 さい 災害安全

(1) 地しんの危険と安全確認

平成16年11月には、新がた県で大きな地しんがあり、多くの建物がこわれました。北海道でも地しんは多く発生しています。

地しんは、いつ、どこで起こるか分からないので、日ごろから地しんについての学習を通して、準備と訓練をしておきましょう。

① 過去の大地しんを調べよう。



ひ害状況を調べ、どうしたらひ害を最小限に食い止めることができるか話し合ひましょう。

- ・平成16年新がた県中えつ地しん
- ・平成15年十勝おき地しん
- ・平成7年兵庫県南部地しん
- ・平成5年北海道南西おき地しん

など

※特に、平成5年北海道南西おき地しんの時のつ波のひ害に注目しましょう。

② 地しんから身を守る方法は？

いろいろな場面で地しんが起きた時、どうすればよいか話し合ひましょう。

○学校の中で	
○登下校の時に	
○外出先で	
○家の中で	

③ 地しんの謎にせまろう

インターネットで地しんについて調べましょう。

※参考 地球キッズ探検隊 <http://www.jishin.go.jp/kids/>

○地しんはどうして起こるの

○地しんが起きたらどうすればよいか

○普段からの心がけは

④ 家族で防災会議を開きましょう

【家族の連絡方法は】

「NTT災害伝言ダイヤル171」の利用方法を調べてみましょう。
 〈伝言を聞く「2」をダイヤル。
 伝言を録音する「1」をダイヤル。〉

連絡先	名 前	電 話 番 号
1		
2		
3		

【持ち出し品チェックリスト】

飲料水	現金	
食料品	下着類	
医薬品	ちり紙	
ラジオ	タオル	
かい中電灯	軍手	

このほかに必要なものはないか考えましょう

【避難場所は】

一時集合場所	
広域避難場所	
避難場所	

【避難の時の約束は】

【我が家の安全対策は】

(2) 火山の危険と安全確認

火山がふん火したら

私たちの住んでいる北海道には、活火山（将来、ふん火しそうな火山）が18もあります。その中でも、ふん火の可能性がとて高い火山が5つあります。

- ・め阿寒だけ
- ・十勝だけ
- ・たる前山
- ・有す山
- ・北海道こまがだけ

この5つの火山について、いつふん火して、どれだけのひ害があったのか調べてみましょう。

また、火山によってふん火の特ちょうが違うので、近くの火山について調べてみましょう。

火山がふん火すると、とても危険なことが起こります。ふん火から大切な命を守るために火山について学習しましょう。

① ふん火したら何が起こるの？

火山によって変わりますが、ふん火すると次のようなことが起こります。

ア 火さい流・火さいサージ

ふん火の時に、一番おそろしいのが火さい流・火さいサージです。

温度が高く、人が巻きこまれると焼け死んでしまいます。

時速100km以上のスピードで山をくだってくることもあります。





イ ふん石

ふん火すると火口から勢いよく石が飛び出し、降り注ぐことがあります。

直径1m以上の大きな石が降ってくることもあります。

ウ 降灰

ふん火の時、空から降ってくる細かい灰のようなものを火山灰といいます。

火山灰がたくさん降ってくると夜のように真っ暗になってしまいます。

また、火山灰を大量に吸いこむと喘息してしまうこともあります。



エ 地かく変動

マグマが地面の近くに上がってくると、地面が盛り上がったたり、割れ目ができたりすることがあります。

オ でい流

火山灰が積もった後に雨が降ると、火山灰と水が混ざって流れてくることがあります。流れの勢いが強く、人が巻きこまれると流されてしまいます。

また、家など大きなものもこわしてしまうこともあります。



(3) 火災の危険と安全確認

火災は人間の不注意から起こることの多い災害です。気をつけて用心すれば防ぐことができます。日ごろから防火の意識をもち、準備と訓練をしておきましょう。

① ひ難のコツ7か条

ア 天井に火が燃え移った時がひ難の目安



イ ひ難は、お年寄り、子ども、病人を優先



ウ 服装や持ち物にこだわらず、早くひ難



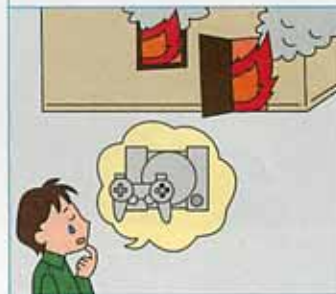
エ ほのおの中は一気に走りぬける



オ けむりの中をにげる時は、姿勢を低くして。



カ いったんにげ出したら、中にはもどらない。



キ にげおくれた人がいる時は、近くの消防隊員にすぐ知らせる。



◎ さまざまな場所で、火災から自分の安全を守るためには、どうすればよいか話し合ひましょう。

○学校の中で

○家の中で

○外出先で

② 消火方法

火災では、消火のために水をかけてもよい場合と水をかけてはいけない場合があります。次のイラストは、どちらに分けられますか。



【水をかけてよい場合】

○ 書き出してみましよう。

【水をかけてはいけない場合】

○ 書き出してみましよう。

③ 火災にそなえて



○ 学校やお家で話し合ったことを書き出してみましよう。



- 火災の場合の避難方法、避難場所や役割分担について、お家の人や学級の人みなさんと話し合っておきましょう。
- 学校やお家以外の場所で火災にあう場合も考えられます。非常放送をしっかり聞き、指示にしたがいましょう。
- 学校の避難訓練が基本となります。真けんに取り組みましょう。

(4) 風水害の危険と安全確認

平成15年や16年には、大きな台風が北海道に上陸し、大きなひ害を受けました。ひ害にあわないためには、日ごろからの準備が大切です。学校やお家で、どんな準備をしておけばよいか話し合ひましょう。

- ① 台風や大雨が起こりそうな時はどうすればよいか、学校やお家の人と話し合ひましょう。

◆ 話し合ったことを書き出してみましよう。



- ② 雨や風が強かったり、大雪がふって、集団で登下校する時に、上級生としてどのように行動したらよいか、話し合ひましょう。

◆ 話し合ったことを書き出してみましよう。

- ③ 家にいる時、台風などの影響でひ難しなればならなくなった時は、どうしたらよいか、お家の人と、話し合ひましょう。

◆ 話し合ったことを書き出してみましよう。



ひ難場所	
連絡先	

主 題 一 覧

【交通安全】

主 題		指 導 の ね ら い
1	道路の横断	交差点や道路を横断する時の危険について知り、道路を安全に横断できるようにする。
2	雨・雪の日や夜間の歩行	気象の変化や、夜間における潜在危険について知り、安全に行動できるようにする。
3	自転車の安全な乗り方	いろいろな交通状況のもとで、安全に自転車に乗る方法や態度を身に付ける。
4	自動車の動きと安全な歩行	自動車の種類による死角や内輪差、右・左折やバックの時の合図などを知る。
5	自動車のスピードと急停止	自動車の急停止と、気象条件の関係などについて知る。

【生活安全】

主 題		指 導 の ね ら い
1	登下校の安全	犯罪の起こりやすい場所について知り、犯罪から自分の安全を守るための方法を身に付ける。
2	地域安全マップを作ろう!	校区内の安全マップを作成し、地域の犯罪被害を防止するための自分たちの役割について知る。
3	こんな時は、どうしたらいいでしょう	身の回りの危険について知り、犯罪の被害にあわないようにするための方法を身に付ける。
4	こんな時、どんな行動をしたらいいでしょう	様々な場面に応じた行動の仕方を知り、犯罪の被害から自分自身を守る方法を身に付ける。
5	不審者のしん入を防ぐ取組	校内への不審者の侵入を防止するための取組について知り、不審者の侵入を防ぐための自分たちの役割について考える。
6	校舎内の危険な場所を探そう	校内の危険箇所や危険な行動について知り、学校生活における安全な行動を身に付ける。

【災害安全】

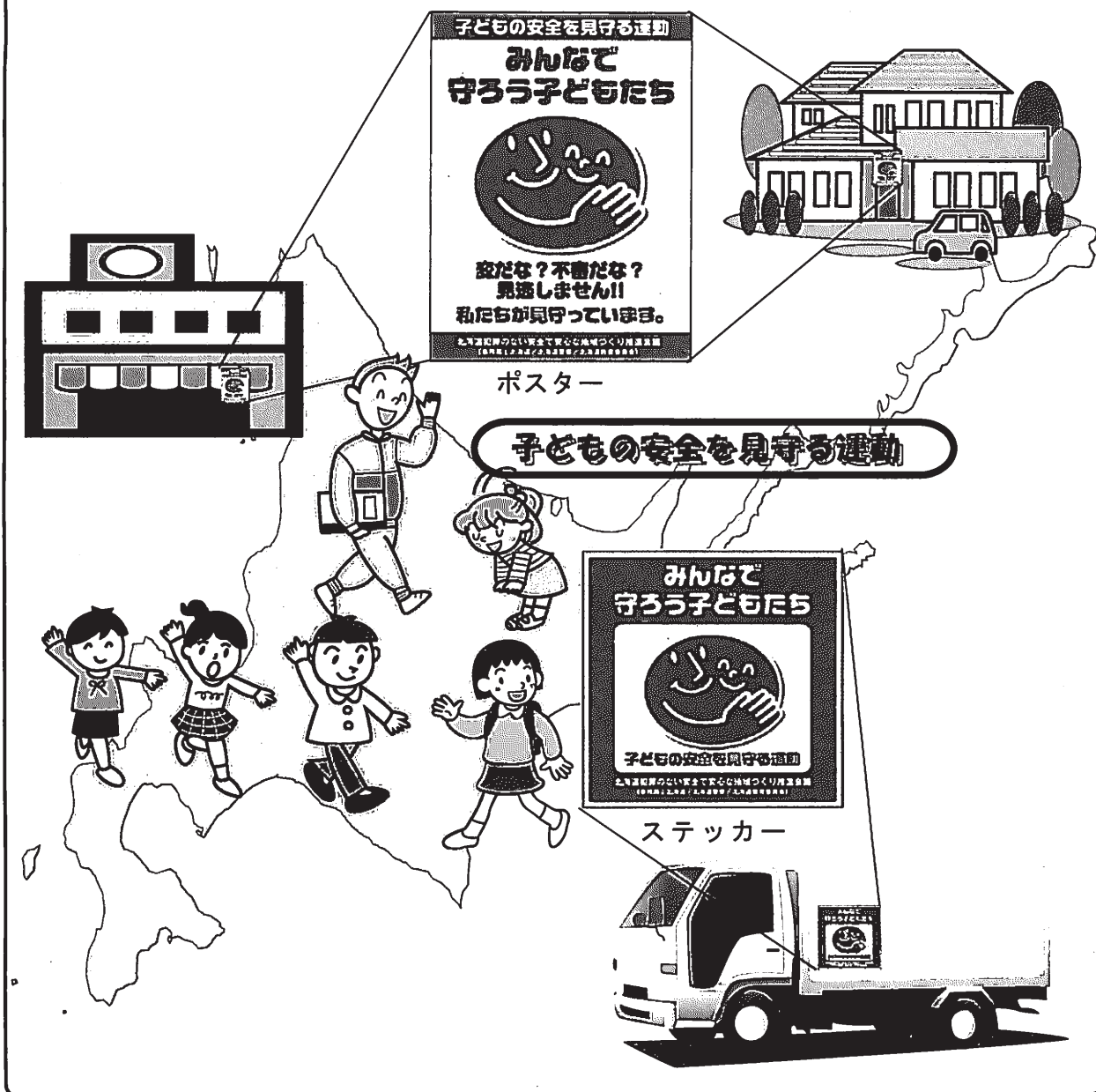
主 題		指 導 の ね ら い
1	地しんの危険と安全確認	過去の地震の被害について知り、様々な場面に応じた避難の仕方を身に付ける。
2	火山の危険と安全確認	火山災害が発生した時の危険について知り、様々な場面に応じた避難の仕方を身に付ける。
3	火災の危険と安全確認	避難の仕方について知り、火災時に安全な行動ができるようにする。
4	風水害の危険と安全確認	避難の仕方について知り、風水害が発生した時に安全な行動ができるようにする。

学 校 安 全 ー平成22年度ー 5・6年

作成協力 七 飯 町 立 鶴 野 小 学 校 校長 佐藤 一夫
 安 平 町 立 早 来 小 学 校 教諭 中島 清人
 札 幌 市 立 山 鼻 小 学 校 教諭 志村 智
 江 別 市 立 対 雁 小 学 校 教諭 山口 純一
 白 老 町 立 社 台 小 学 校 教諭 武藤 史舟

編集・発行 北海道教育庁学校教育局参事（生徒指導・学校安全）

- あやしい人に、声をかけられたり、追いかけられた時には、このポスターをはってあるお店や会社やステッカーがはってある自動車に助けを求めましょう。



※ 北海道・北海道警察・北海道教育委員会など60団体で構成する「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議」では児童等の安全確保を図るため、「子どもの安全を見守る運動」を実施しています。

この運動は、道内の各種施設や各種事業所等の協力をいただき、啓発ポスターを掲示するほか、事業用等の車両に「子どもの安全を見守る運動」のステッカーを掲示して、子どもたちの安全に対する大人への注意喚起を促すとともに、事件・事故を目撃したり、助けを求められた場合に、警察等への通報や一時保護に協力し、子どもの安全を図るものです。

平成22年度
「学 校 安 全」
5・6年
北海道教育委員会

学 校

学年・組

名 前